

1 線虫類

(1) 回虫

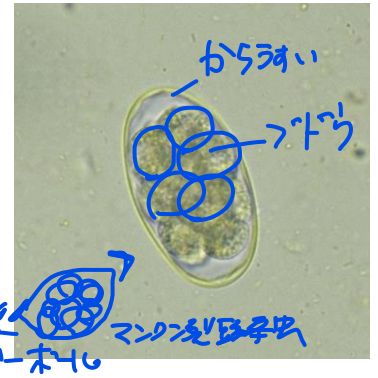
- ・ 感染様式として経口感染の他に[胎盤感染]や[乳汁感染]も重要(犬回虫)
- ・ 人への感染も認められ, 人では[トキソプラズマ症]と呼ばれる
- ・ 治療は[マクロライド系(イベルメクチン)], [セロランテロ], [フェバンテロ]など

※コリー種に神経障害



(2) 鉤虫

- ・ 鉤虫の頭部には鋭い[歯牙]が備わる
- ・ 幼虫の経口摂取により感染, 胎盤・乳汁感染あり
- ・ 吸血することで, [血便]が排泄されたり, 多数寄生では[貧血]を認める
- ・ 人へ感染した際, [紅毛爬虫行症]を認める
- ・ 治療は[マクロライド系(イベルメクチン)], [セロランテロ], [フェバンテロ]など



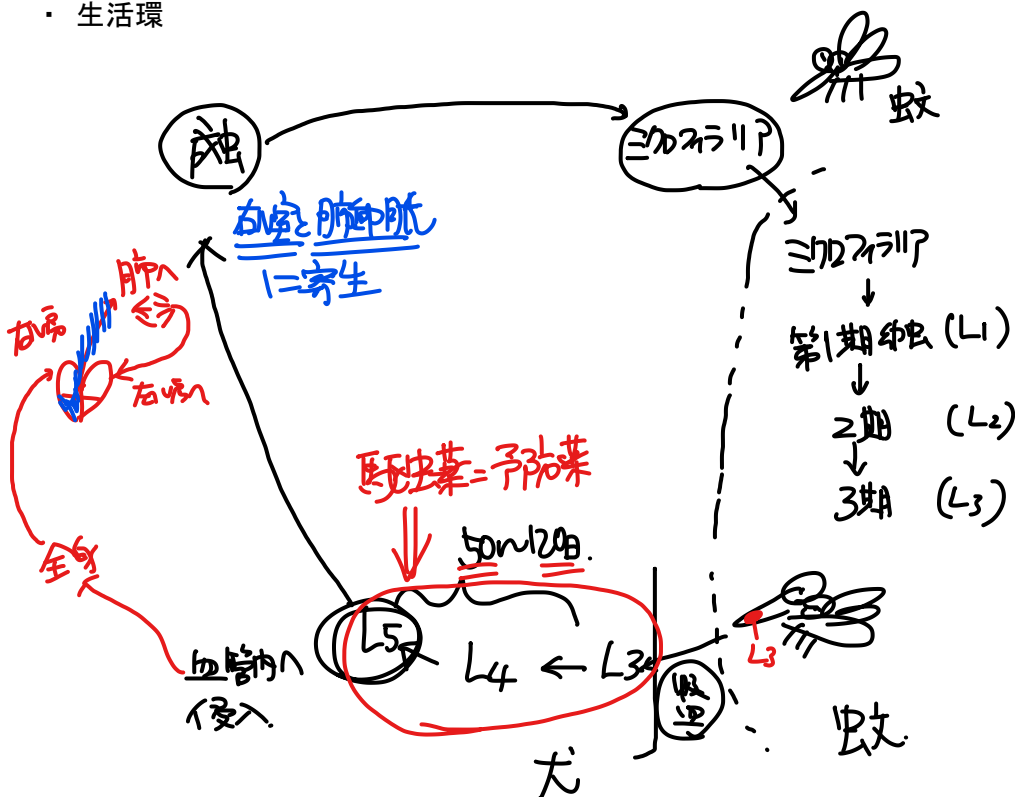
(3) 鞭虫

- ・ 成熟卵の経口摂取により感染する
- ・ 成虫は[大腸]に感染する
- ・ 治療は[マクロライド系(イベルメクチン)], [フェバンテロ]など



(4) 犬糸状虫

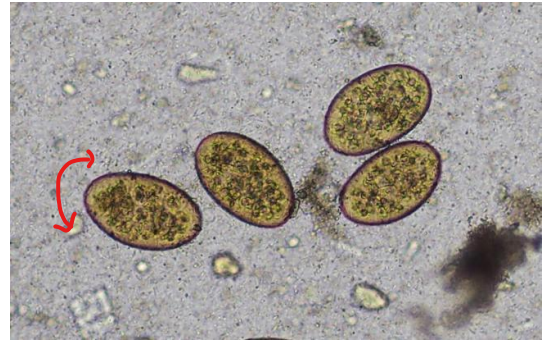
- ・ 幼虫の駆虫(予防)を[マクロライド系]の薬で実施する
- ・ 生活環



2 吸虫類

(1) ツボ形吸虫

- 2種類の間宿主を必要とし、第1宿主は[ヒラギガイモドキ]、第2宿主は[カエル、ヘビ]で、第2中間宿主の捕食により感染
- ⇒[マンソン裂頭条虫]と共通の第2中間宿主
- 感染部位は[小腸]である
- 治療は[フロシツアネル]が有効



3 条虫類

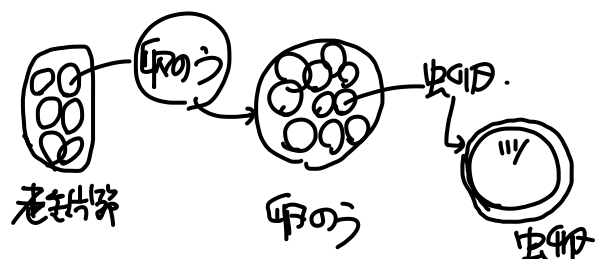
(1) マンソン裂頭条虫

- 2種類の間宿主を必要とし、第1宿主は[ヒラギガイモドキ]、第2宿主は[カエル、ヘビ]で、第2中間宿主の捕食により感染する
- ⇒[ツボ形吸虫]と共通の第2中間宿主
- 感染部位は[小腸]である
- 治療は[フロシツアネル]が有効



(2) 瓜実条虫 (犬条虫)

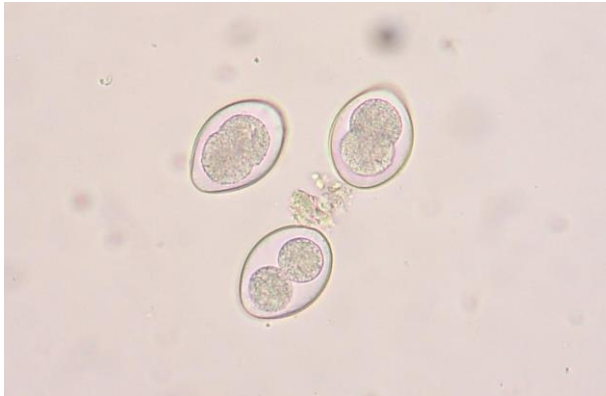
- 中間宿主は[ネミ]でグルーミングの際に経口摂取して感染
- 糞便表面に[老熟卵嚢]が排泄される
- ほとんどは無症状だが、腸炎を起こすことがある
- 治療は[フロシツアネル]が有効



4 原虫類

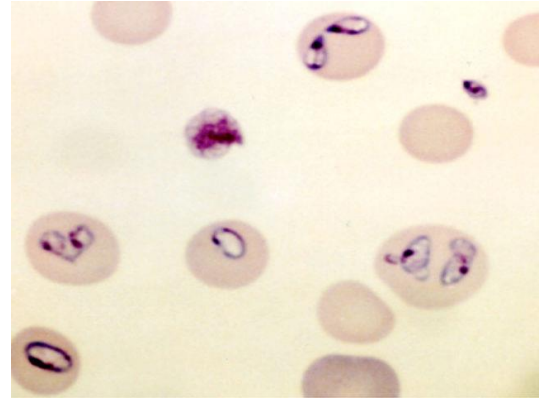
(1) コクシジウム

- 治療はトリトラスリル・サルファ剤が有効



(2) バベシア

- [マダ]が媒介し, [赤血球]に感染する
- [西日本.]で多く発生する
- 治療は[シニチン](使うけど特効薬ではない)



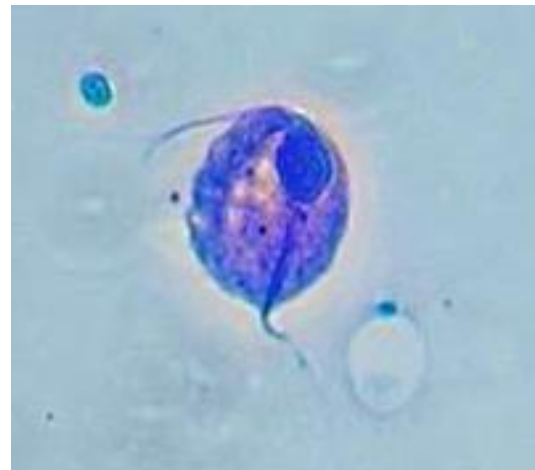
(3) ジアルジア

- [栄養体]は環境中では長時間生存できない
- 寄生部位は[小腸]→[腸管]の排泄
- 治療は[メトロニダゾール]



(4) トリコモナス

- 環境中では長時間生存できない
- 治療は[メトロニダゾール]がある程度有効



卵→幼虫→さなぎ→成虫

完全変態

5 外部寄生虫と媒介する感染症

(1) ノミ

- ・ [昆虫] ・ 宿主特異性は[低い]
- ・ [完全変態]
- ⇒ 卵→幼虫→さなぎ→成虫
- ・ [雌雄ともに] 吸血する
- ・ [ハダシ虫] の中間宿主になっている
- ・ 媒介感染症: 弓形虫病, ノゾ.



(2) ダニ

脚6本

- ・ 卵→[幼ダニ]→[若ダニ]→[成ダニ]
- ・ 各ステージで~~宿主~~異なる宿主が必要
- ・ 媒介感染症: 日本紅斑熱, SFTS, Q熱, クリミアン出血熱, バンシアライム病 など.



(3) カ ※寄生虫ではないが...

- ・ [昆虫]
- ・ [不完全変態] ・ [メスのみ] 吸血する
- ・ 媒介感染症: フラミンゴ熱, マダガスカル熱, リトバレー熱, グラブ熱, 日本脳炎, マラリア, フラバ?



(4) シラミ・ハジラミ

- ・ [昆虫] ・ シラミは宿主特異性が[高い]
- ・ [不完全変態] ←サナギもたない
- ・ 吸血するのは[シラミ]
- ・ [ハジラミ]は~~皮膚~~を栄養とする



イヌジラミ



ネコハジラミ

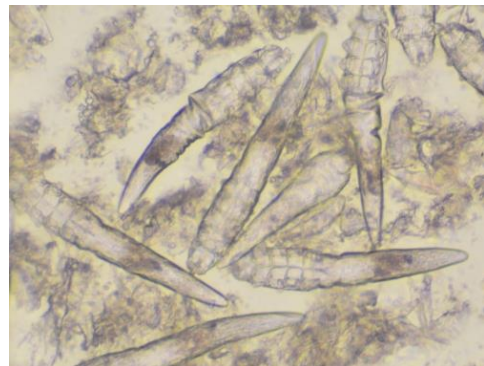
(5) ヒゼンダニ ⇒ [疥癬症]の原因

- ・ 寄生すると[強い痒み]がある



(6) ニキビダニ 卵虫

- ・ 基礎疾患を持つ動物で増殖する



14, 25, 26, 28